下記警告サインの意味をご理解の上、取扱説明書をお読みください。

⚠ 警告 指示に従わない場合は死亡、または重度の障害を負う可能性があります。

⚠ 注意 指示に従わない場合は軽傷、または他の財物の損傷を引き起こすことになります。

⃠ マークは禁止を表します。
❗ マークは強制を表します。

⚠ 警告

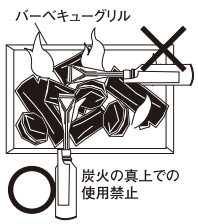
■使用上の注意

●点火時および使用中は、火口を人体に向けたりのぞきこんだりしないでください。
●使用中および使用直後は火口、火口付近が熱くなっていますので可燃物を近づけたり手を触れたりしないでください。
●容器（ボンベ）は正しくセットしてください。容器（ボンベ）のセットが不十分だとガス漏れ事故の原因となります。

●火のついたまま落としたり、放り投げたりしないでください。
やけど、火災の恐れがあります。
●使用後はすぐに器具を消火し、容器（ボンベ）を必ず取外し、火元から離して置いてください。
●器具に容器（ボンベ）を取付けたまま持ち運んだり、移動したり、保管したりしないでください。ガス漏れ事故の原因となります。

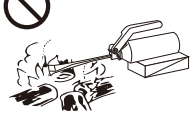
■炭の火起こしの際の注意

●従来のバーナーに比べ炭の跳ね返りが少なく安全ですが、炭の火起しの際は保護メガネ等をして、けが・やけどには十分気をつけてください。



●炭火の真上で使用するなど容器（ボンベ）が過熱するような使い方はしないでください。容器（ボンベ）内の圧力が上がり爆発する恐れがあります。
●必ずグリップを持って使用してください。容器（ボンベ）を持って使用すると、本体バルブカバー及び容器（ボンベ）先端部の異常過熱に気付きにくくなります。また、他の器具に固定したり置いたまま使用すると容器（ボンベ）が過熱し、爆発する恐れがあります。

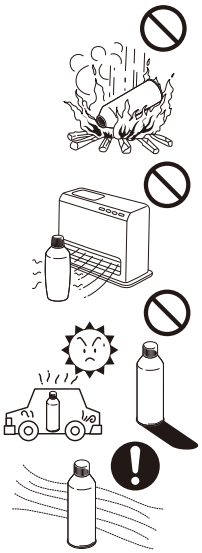
●強風時での使用、また向い風での使用はおやめください。炎が本体側にかかり本体の破損、また容器（ボンベ）が過熱する恐れがあります。



●火口で炭を割ったり移動させたり、火口を炭火の中に入れたまま使用したりしないでください。器具の破損、また容器（ボンベ）が過熱する恐れがあります。
●手袋を着用しての使用の際は、容器（ボンベ）の異常過熱に気付きにくくなるため十分注意してください。

⚠ 警告

■使用容器（ボンベ）の取扱上の注意



●容器（ボンベ）は必ず専用容器（ボンベ）ST-720をご使用ください。
●容器（ボンベ）に表示されている注意事項をよく読んでからご使用ください。
●容器（ボンベ）の過熱により爆発する恐れがありますので以下のような行為は禁止します。
・容器（ボンベ）を火の中に投げ入れる。
・容器（ボンベ）をストーブ、ファンヒーターなど熱気あたる所や直射日光の当たる場所、また高温になる場所に放置する。
※特に自動車内は非常に高温になりますので注意してください。
・容器（ボンベ）が40℃以上になる場所で使用する。
●容器（ボンベ）に強い衝撃をあたえないでください。
●使用しない時は、容器（ボンベ）は40℃以下の湿度の少ない場所にキャップをして保管してください。また容器（ボンベ）はときどき点検して錆が発生している場合にはできるだけ早く使用してください。

■使用済み容器（ボンベ）の処理に関する注意

●容器（ボンベ）は完全に使いきってから他のゴミと区別して捨ててください。（各自治体の処理方法に従って捨ててください。）

⚠ 注意

■取扱上の注意

●換気の十分な場所で燃えやすい物や熱に弱い物からは十分離れた場所で使用してください。
●風の強い時は使用しないでください。
●火災は思いもかけぬことから発生することがありますのでご使用の際は、火の元に十分ご注意ください。
●ご使用にならない時は必ず容器（ボンベ）を取外して保管してください。
●お子様の手の届かない所に保管してください。
●お子様には使用させないようにしてください。

■使用容器（ボンベ）

フィールドチャッカー専用容器（ボンベ） ST-720

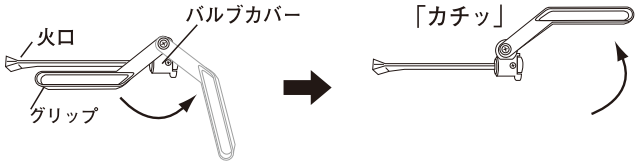
●吸収体構造により逆さ使用可能。
●ネジ込み式により安全装着。
●強耐圧缶仕様により安全使用。

※販売店にない場合は当社お客様係フリーダイヤル
0120-75-5000までご相談ください。

Eメールでの問い合わせ先：info@shinfuji.co.jp

使用方法

■点火前の準備



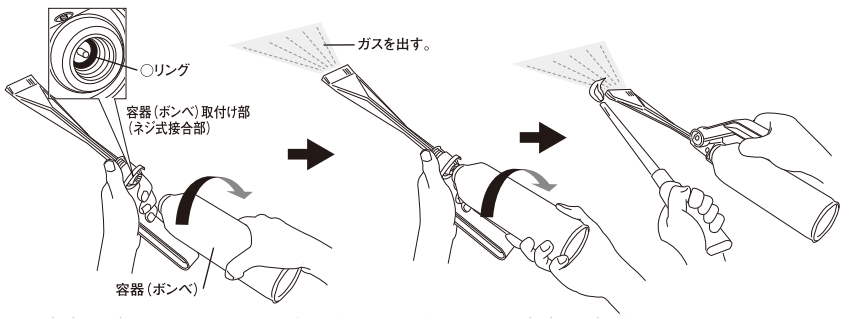
グリップを図のように「カチッ」というまで回転させ固定します。
※指をはさまないように注意してください。

■点火

容器(ボンベ)を締めつけるとガスが出る

⚠警告 本製品は容器(ボンベ)を取付、締めることによってガスが出る構造になっています。容器(ボンベ)の取付時、周囲に火気のないことを確認してください。またガスが出たら速やかに点火してください。

※容器(ボンベ)取付部内の「○リング」はガス漏れ防止に大変重要な部品です。点火前にゴミ等が付いていないか確認し、キズ、変形等のある場合は、当社お客様係までご相談ください。



図のようにバルブカバーを片手で持ち、容器(ボンベ)を本体の取付け部(ネジ式接合部)に正しくセットして矢印方向(右ネジ)に止まるまで締め、ガスを出し、速やかにライター等で点火します。

※容器(ボンベ)を締める途中でガスが出ますが、必ず容器(ボンベ)が回らなくなるまで締めてください。
※図のように必ず火口の横から点火してください。火口の正面から点火すると、炎が手にかかりやけどをする恐れがあります。
※本製品は火力調整はできません。

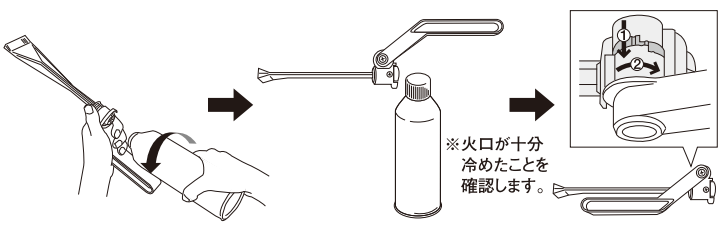
アドバイスメモ

炭の火起しの際、炭火による火口の過熱や、風、気温等の自然条件により燃焼音が「ゴー」という音に変わり、火口内部で燃焼し、火口が赤熱することがあります。その際は一度消火し、火口を十分冷ましてから再度点火して使用してください。そのまま使用すると、火口の劣化や、破損の恐れがあります。

■消火

容器(ボンベ)をゆるめると消火

⚠警告 本製品は容器(ボンベ)をゆるめることによってガスが止り、消火する構造になっています。ゆるめ方が不十分だとガスが出る危険がありますので、消火後は必ず容器(ボンベ)も取外してください。



1.バルブカバーを片手で持ち、容器(ボンベ)を点火時と逆の方向(図の矢印方向)に回して消し、本体から容器(ボンベ)も取外します。
※火気のない所で消火してください。

2.火口が十分冷めたことを確認し、グリップを図のように折りたたみ収納します。
※火口を水につけるなどして急に冷やさないでください。火口の劣化や破損の恐れがあります。
※指をはさまないように注意してください。

⚠注意

使い初めの容器(ボンベ)を使用する時や35℃以上の高温時には生ガス(気化していない白い霧状のガス)が出て炎が大きく立ち上がることがあります。その際は火のついたまま容器(ボンベ)を垂直に立て、生ガスが出なくなるまで2～3分間燃焼させてから使用してください。

◆日常の点検・手入れ

- ●日常の点検、手入れは必ず行ってください。
- ●点検・手入れは消火し、容器(ボンベ)を取外し火口、火口付近が完全に冷めてから行ってください。
- ●故障又は破損と思われるものは絶対使用しないでください。
- ●不完全な修理は危険です。万一具合が悪くなって処置に困るような場合は、お買い求めになった販売店または、当社お客様係フリーダイヤル 0120-75-5000 までご相談ください。